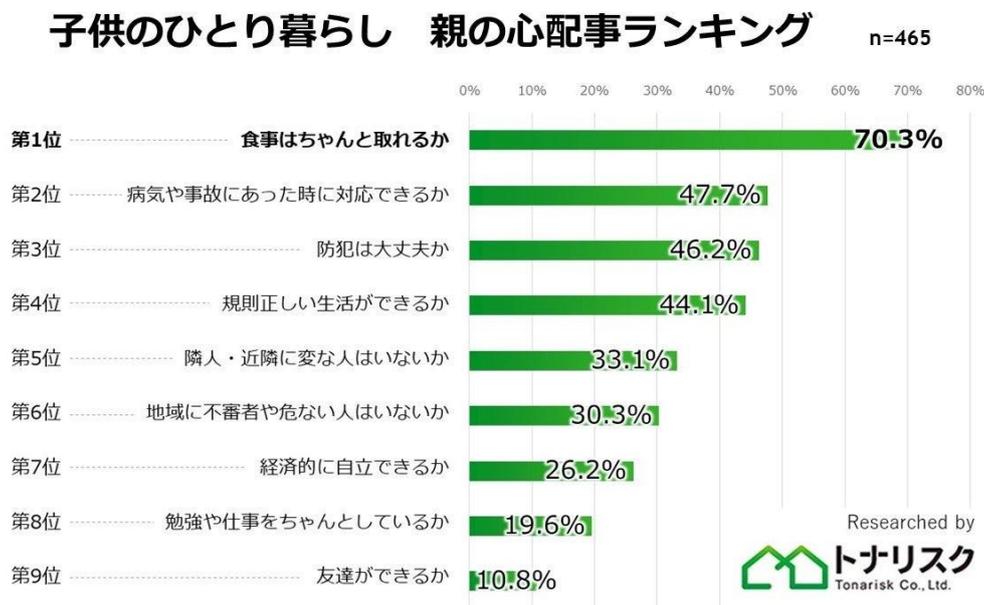


巣立ち・引越しシーズン目前！「ひとり暮らしを始める我が子」についての心配事ランキング 1位は「食生活」 防犯や近隣住民への不安もあり

株式会社トナリスク（本社：東京都豊島区、代表取締役：松尾 大史）は、子供がひとり暮らしした経験がある親 40～91 歳の男女 465 名を対象に「子供のひとり暮らしの心配事」について調査しました。心配事の内容と、こういった対処、対応をしているかを尋ねました。また、調査結果を踏まえ、「お子様のひとり暮らし」に備えた、引越し前の隣人調査の特別キャンペーン (https://tonarisk.co.jp/fudousan-lp_daigaku/) を 2 月 14 日からスタートします。

■子供のひとり暮らし 親の心配事ランキング



子供のひとり暮らしの心配事ランキング第 1 位は「食事はちゃんと取れるか」（70.3%）でした。食料の仕送りをしたり、料理のレシピを教えたといったコメントもありました。第 2 位は「病気や事故にあった時に対応できるか」（47.7%）、第 3 位「防犯は大丈夫か」（46.2%）でした。一緒に部屋を探し、オートロックのマンションや 2 階以上のセキュリティのしっかりした部屋を選んだという声がありました。また、大家さんに異変があったら連絡をもらうようお願いするなど、家選びの時点で対処している親が多いようです。

第5位は「隣人・近隣に変な人はいないか」(33.1%)、第6位「地域に不審者や危ない人はいないか」(30.3%)という結果で、3割程度の親がご近所や地域への不安があることがわかりました。こういった不安に関しても、家選びの際に治安の良い地域を選んだり、口コミや周辺の様子を見に行ったという回答がありました。

第4位の「規則正しい生活ができるか」(44.1%)、第7位から第9位の「経済的に自立できるか」(26.2%)、「勉強や仕事をちゃんとしているか」(19.6%)、「友達ができるか」(10.8%)に関しては、心配しているものの、本人に任せている、見守るのみというようなコメントが見られました。

■心配事にどのように対応しているか？

家選び

- 一緒に下見に行った。(50代男性)
- セキュリティの高いマンションを選んだ。(40代女性)
- 大学の時は一緒に部屋探し、大家さんの自宅前を選び挨拶。時々メールで連絡をとり帰省した時に送って行って時間があれば部屋掃除。社会人になり寮生活になってからは時々LINEで連絡。(60代女性)
- 防犯対策や、地域の病院などの確認。(60代男性)
- オートロックのマンション。大家さんが隣に住んでおられて、異変があったらすぐ連絡をいただけるようお願いをしました。(60代男性)

親や子供本人の心構え

- 本人がいかにか危機感、責任感、厳しさを持って生活できるかしかありません。(60代男性)
- 過干渉を止め、子供を信じる努力をした。(60代女性)
- 娘に私の心配要素を伝えて、分かってもらった。あとは何もしなかった。(50代女性)

調査概要

- ・調査期間：2023年2月5日(日)～7日(火)
- ・調査対象：40～91歳男女、子供のひとり暮らし経験者
- ・有効回答数：465件
- ・調査方法：Web上でのアンケート調査

会社概要

株式会社トナリスクについて

隣人・近隣トラブルの予防・対策の専門会社。隣人調査・トラブル仲裁事業を通じ、「平穏

な日常生活」の実現への貢献を目指す。